

社会科学習指導案（歴史分野）

授業クラス：2年3組40名（男子：20名、女子：20名）

場所：2年3組教室

授業日時：6月15日木曜日2時限目

（9時50分～10時40分）

授業者：

指導教諭：

1、単元名：第4章2節『江戸幕府の成立と鎖国』

【指導計画】1、江戸幕府の成立と支配のしくみ

2、江戸幕府の政治のしくみ、さまざまな身分と暮らし（本時）

3、貿易の振興から鎖国へ

4、鎖国化の対外政策

（全5時間）

2、単元について

（1）教材観：江戸時代の大きな特徴の1つとして、江戸幕府が約260年平和で安定した時代を築いたことが挙げられる。大名の配置や身分制度、鎖国政策などを通して、江戸幕府の支配の特徴を考えさせ、約260年続く時代のしくみについて理解させることが大きなねらいである。身分制度などは、現在の日本には存在しないので、生徒の視点・観点からわかりやすい教授方法が必要である。そのための教材として、教科書・資料集以外に視覚教材（以下、ICT教材とする）を用意し、生徒たちの興味・関心を高め、主体的な学習を促す。

（2）生徒観：小学校にて、江戸時代について学習しているが、江戸幕府や徳川家康などのキーワードについては、馴染みがあっても、諸制度について考察できている生徒は少ないと考える。本学級だけでなく本学年は、社会科の授業で普段から班体制になり、考える時間が設けられているので、その点を利用し、諸制度についての考察および理解につなげる。

（3）指導観：指導上の留意点としては、生徒による主体的な学習およびその環境整備が挙げられる。生徒らの関心を高めるために、ICT教材を用意するが、生徒らが身近に感じるようなテーマや考えやすいテーマを扱うことで騒がしくなる可能性が潜んでいるので、注意喚起や生徒らとの対話を通して、説明を聞くなどの雰囲気を作り、説明が完了するように授業を展開する。考えただけにとどまらず、理解につなげる点も注意する必要がある。

3、単元の目標：江戸幕府がどのように支配を確立させたか理解させる。

4、本時の主題：江戸幕府の政治のしくみ、さまざまな身分と暮らし

5、本時の目標：江戸幕府の政治のしくみおよび身分による暮らしの違いについて理解させる。

6、本時の準備物：教科書『新編 新しい社会 歴史』（東京書籍）

資料集『中学歴史資料集、学び考える歴史 大阪府版』（浜島書店）

ICT教材（プロジェクターとPC）

配布プリント1枚（江戸幕府の政治のしくみ）

7、本時の指導過程

配分	学習活動	留意点・補足
導入 5分	<p>1・地図帳クイズ：授業時に世間からの関心が集まっているニュースに関連する場所を探す。ページと地名などは、指示する。</p> <p>2・プリントを1枚配布する。（江戸幕府の政治のしくみ） →配布前にノートに貼るように指示する。</p>	<p>●机は班体制にする。</p> <p>1、【関心・意欲・態度】</p> <p>2・配布するプリントは、前回範囲の続きの内容であることを付け加える。 ・班ごとに配る際に、忘れ物がないか確認する。 ・貼る時間をとる。机間支援をして、貼っているか確認する。</p>
展開 40分	<p>3・配布したプリントの穴埋めをさせる。 ・配布プリント①～③について、正答の確認を行う。②大老と③老中についての補足説明をする。</p> <p>4・前回の復習を行う。</p> <p>5・本時のめあての説明をする。 （江戸幕府はどのように人々を支配したのだろうか？）</p>	<p>●基本的に呼名ではなく、挙手制で授業を進める。</p> <p>3【関心・意欲・態度】 ・教科書を見ながら埋めるように指示する。（1～2分時間をとる）</p> <p>4【知識・理解】 ・関ヶ原の戦い、武家諸法度、参勤交代について、確認する程度に復習する。</p> <p>5【関心・意欲・態度】 ・2～3人に現在の自身が考える身分を聞く。</p>

	<p>6・身分別の円グラフを見て、少数の武士身分がその他多数の身分を支配するということを理解させる。</p> <p>7・百姓の生活について、ぜいたく品の禁止などを説明する。</p> <p>8・五人組について説明する。</p> <p>9・えた身分、ひにん身分について説明する。</p> <p>10・本時のめあてに対する答えを提示する。</p>	<p>予想される反応 中学生、班長、庶民、一般人、神天皇、武士など →今の日本に身分制度がないことを確認する。</p> <p>6・少数の武士階級が、多数のその他の身分を支配していたことを意識させる。</p> <p>7【思考・判断】 ・お茶・お酒・タバコなどは、現代では、日常的に見ることができるが、当時はぜいたく品として禁止されていたことを理解させる。お酒とタバコは20歳からと付け加える。</p> <p>8【知識・理解】 ・五人組を班(4人)に見立てて、説明する。</p> <p>9【思考・判断】 ・死んだ牛や馬の処理について考えさせる。現代なら、役所の人が処理するなど。 ・雪駄作りについて1足の値段を班で考えさせる。差別はされているが経済的に苦しい人ばかりでなかったことを言う。 ・この差別が、今も続いていることを教える。(同和問題、被差別部落など)</p> <p>10【知識・理解】 ・このまとめは最後にもう1度説</p>
--	--	---

	1 1 ・本時の内容を板書する。	<p>明するので、この段階では、説明のまとめをするだけにとどめる。</p> <p>●机を前に向けさせる。</p> <p>1 1 【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今からはノートを書く時間ということを伝え、集中させる。 ・机間支援を行い、書けているか、確認する。板書について個別に出た質問について、必要があれば全体に通知する。 ・書き終わった生徒には、教科書や資料集などで当該範囲を確認させる。
まとめ 5分	<p>1 2 ・本時のまとめを言う。</p> <p>(1 3 ・隣の人と本時の内容について問題の出し合いをさせる。)</p>	<p>1 2 ・最後のまとめを言うということを伝え、聞く環境にする。</p> <p>(1 3 ・時間がない場合は省略する。)</p>

8、評価の観点

- ・配布プリント（江戸幕府の政治のしくみ）の穴埋めができているか。【関心・意欲・態度】
- ・江戸時代の政治のしくみについて、理解できたか。【知識・理解】
- ・班のメンバーと積極的に意見を交換することができたか。【表現・技能】
- ・江戸時代のさまざまな身分の人々の暮らしについて考察することができたか。
【思考・判断】
- ・江戸時代のさまざまな身分やその暮らし、諸制度について理解できたか。【知識・理解】

9、板書計画

●さまざまな身分

- ・武士：支配身分として特権をもつ。

名字・帯刀 など

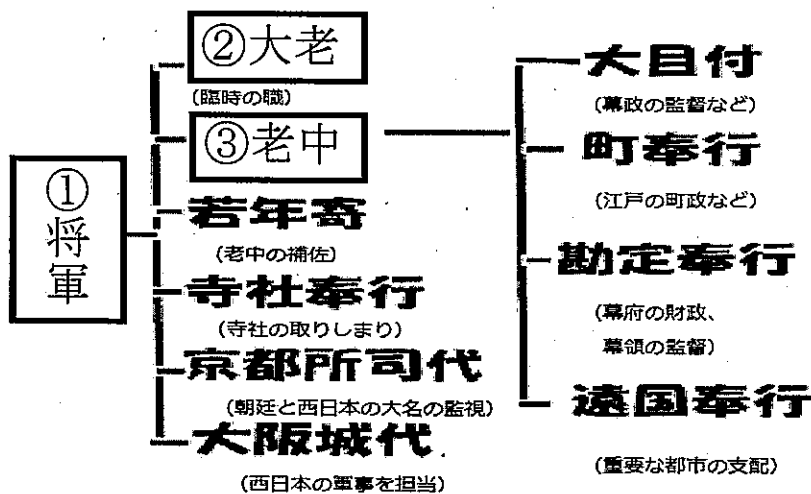
↓支配

- ・百姓
├── 本百姓：土地を持つ百姓、年貢を納める
│ └── 庄屋（名主）や組頭、百姓代などの村役人になることができた
└── 水のみ百姓：土地を持たず小作を行う百姓
 └── 土地を借りて耕作すること（有料）
- ・町人：都市に住む商工業者（商人、職人）、町役人に選ばれた、税を納める
- ・五人組：百姓・町人の5つの家を1組とし、互いの監視や連帯責任を負わせた。
 犯罪の防止、年貢の納入など

●厳しい身分による差別

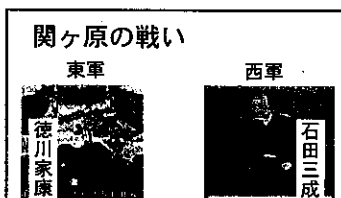
- ・えた身分、ひにん身分：死んだ牛や馬の解体、革製品の製作、雪駄作り、犯罪者をとらえるなどの仕事で生活。
 →他の身分の人々から厳しい差別を受ける。
 （村の運営や祭りに参加できないなど）
 幕府や藩は、住む場所や職業、服装を規制
 →さらに差別意識が強まる

10、配布プリント（江戸時代の政治のしくみ）



11. ICT教材(①)

① 将軍
 ② 大老
 →江戸時代の間で10人だけ
 ③ 老中
 →政治のまとめ役

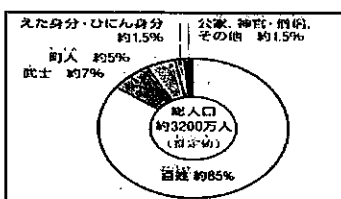


大名が勝手なことをしない
 ために定めたルール

武家諸法度

江戸と領地を1年おきに
 往復する制度

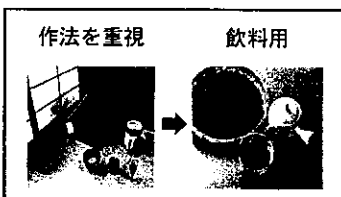
参勤交代



江戸幕府は、
 どのように人々を
 支配したのだろうか？

百姓の生活心得①

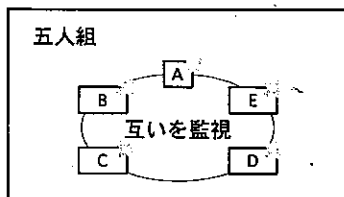
- ・茶
- ・酒
- ・仁



百姓の生活心得②

- ・お米は控えて、雑穀を食べる。
- ・衣類は、麻か木綿のみ

11. ICT教材(②)



差別された身分

・えた身分、ひにん身分
→死んだ牛や馬の処理、雪駄作りなどの仕事

約1万円



まとめ

- ・きちんと役割分担
- ・武士が、百姓や町人を支配
- ・百姓は、五人組の制度などで助け合い